

審議会等の会議結果報告書

【担当課】こども課

会議の名称	第1回茅野市こども・家庭応援会議		
開催日時	令和6年8月26日(月) 午後7時00分～午後9時05分		
開催場所	茅野市役所 701・702会議室		
出席者(名簿順)	<p>【委員出席】 市川純章委員、永嶋陽子委員、奥原貴美子委員、伊藤深雪委員、竹内ひかり委員、小澤佳奈委員、柳澤由加里委員、伊藤和巳委員、梶田しのぶ委員、石井聖文委員(代理)、森美奈子委員、竹花顕宏委員(代理)、小口直喜委員、伊藤美奈委員、小林俊男委員、湯田坂美穂委員</p> <p>【市側出席】 今井市長、山田教育長、五味こども部長、守屋社会福祉課長、小穴健康づくり推進課長、北澤こども課長、笹岡幼児教育課長、渡辺学校教育課長、今井学務係長、五味こども係長、伊藤こども・家庭相談係長、飯島こども係こども育成担当、高橋こども係主査</p>		
欠席者(委員のみ)	小林あかね委員、原田正樹委員、春山晴夫委員		
公開・非公開の別	公開	・非公開	傍聴者の数 1人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
こども課長	司会進行		
	1 開会		
	2 委嘱書交付		
	— 市長から各委員へ委嘱書の交付		
	3 市長あいさつ		
市長	<p>本日は大変お忙しい中、このように皆様お集まりをいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいま、委嘱書をお渡しさせていただいたが、これから2年間の任期をよろしくお願いをしたい。</p> <p>この会議体は、茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例に基づき、子どもたちのまたその家庭を継続的に支援・応援するために、平成25年に設置されており、どんぐりプランの進捗管理をお願いしている。時代がどんどん変化する中で、ここはもう少し変えた方がいいのではないかというようなことも含め、ご提言をいただければと思っている。いずれにしても、この茅野市のまちづくりの根幹をなすところの1つ、子育て事業であるので、皆様方、各方面からのご意見を賜りますようお願いを申し上げ、私からの冒頭のご挨拶にかえさせていただきます。皆さんどうぞよろしくお願いをいたします。</p>		
	— 市長 他の公務のため退席		
	4 教育長あいさつ		
教育長	本日は第1回こども・家庭応援会議にお集まりいただき誠にありがとうございます		

	<p>います。</p> <p>先週の木曜・金曜日から、義務教育の関係は、2学期が始まり、大変暑い中で、子どもたちは頑張っている。保育園の子どもは暑いなんて言わずに、びっしょりになって遊んでおり、私たちも参考にしたいと思っている。</p> <p>さて本会の目的は、先ほど市長が申し上げた通り、茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例に基づき、地域ぐるみで子育て子どもを応援・支援していくためのこども家庭応援計画：どんぐりプランの進行管理を行うことである。平成14年に第一次計画が策定され、その後平成22年に第二次計画、平成30年には現行の第三次計画が策定された。</p> <p>本会議では、現行の第三次プランについて、事業の内容と進捗状況を皆様にお諮りするとともに、今後の進行管理についてご審議いただく。特に保健、医療、福祉教育の分野は、いわゆる目標指標といった数値だけでは、課題の解決や本質に迫ることがなかなかできない。数値だけにとらわれず、それぞれの立場から、子どもたちを取り巻く子育ての環境や課題、子どもを支える活動のあり方、様々な視点からのご意見を皆様方からちょうだいする中で、子育て子育ての施策の充実に努めて参りたいと考えている。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>5 自己紹介 — 【資料1】の名簿順に委員、市側 自己紹介。</p> <p>6 会長・副会長選出 会長副会長について、希望があれば挙手をお願いしたい。</p> <p>— 挙手なし</p> <p>こども課長 希望が無いようであれば事務局腹案でお諮りしたいが、いかがか。</p> <p>— 異議なし — 事務局の腹案のとおり、会長：市川委員、副会長：永嶋委員で承認された。</p> <p>会長副会長あいさつ</p> <p>会長 どんぐりネットワーク茅野からきました。会議進行の中で、いろいろと経験を生かしたコメントさせていただきたいと思っている。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>副会長 微力ではあるが、会長や皆様に、いろいろ教えていただきながら進めさせていただければと思っているので、よろしくお願いいたします。</p> <p>こども係長 7 茅野市こども・家庭応援会議の役割について 【資料2】茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例に基づき、本会議の役割について説明。</p> <p>— 以降は会長が進行。</p>
--	---

<p>こども係長</p>	<p>8 会議事項 (1)審議会等の会議の公開の確認 【資料3】茅野市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき説明。</p>
<p>会長</p>	<p>①本日の会議を公開とすること、②会議録の公表を市ホームページでおこなうこと、③公開する議事録の発言委員の氏名を「委員」として記載して公表してよいかを委員へ確認</p> <p>— 承認</p>
<p>こども課長</p>	<p>(2)第3次茅野市こども・家庭応援計画の進捗状況について 【資料4】により、進捗状況について説明。</p>
<p>会長</p>	<p>進捗状況の質疑応答に入る前に、本会議の役割について、私なりに補足したい。</p> <p>20年ほど前にどんぐりプランができた。茅野市のパートナーシップのまちづくりを進めるうえで、分野別にテーマ性のある市民活動を市民と協働で行おうとする中で、最初に福祉分野でビーナスプラン、福祉21ができ、教育分野はこのどんぐりプラン。もう一つ環境分野で美サイクル茅野の3つが大きな分野別の市民団体としてできたと聞いている。そして、10年ほど前に条例ができ、条例に基づいて進行管理をする会議体として、本会議ができ、非常に幅広い分野の皆様方に来ていただいている。このどんぐりプランの進行の見守り役ということで、助言指導などもいただきたい。また、皆様には個人として来ていただいているが、背景に母体となる団体があるということで、団体の中でも情報共有をしたり、そこでの話題や議論されたことを、こちらに持ってきていただいたりできると嬉しい。</p> <p>また、この条例の特徴的なところが、第21条の2:計画の策定などは企画・立案段階から市民の参画により策定するというところ。まさに市民と協働で作っていくようなことがどんぐりプランに基づく活動で、それを見守っていくのか本会議であると考えていただきたい。</p> <p>では、このどんぐりプラン、分厚く、なかなか難しいところだが、ご意見質問等あれば挙手をいただき、なければ一言ずつコメントをいただきたい。</p> <p>— 挙手なし</p>
<p>会長</p>	<p>ではまずは私から気づいた点。</p> <p>施策目標1まなぶの3学校教育の充実の部分。原案では、ここにコミュニティスクールが入っていたが、進捗状況では施策目標3つなぐ・つどうに移っているのはなぜか、ということがまず一つ。次に、改革改善の具体的な内容に、縄文のビーナスプランに基づき…とあるが、この縄文のビーナスプランとはいかなるものか、どこで議論がされたのか、どこでこの内容を知ることができるのか、その辺を聞きたい。もう一つは、去年の冬頃から学校再編の話が出ているが、これはどんぐりプランの中ではどのように扱われていくのか、の3点についてお聞きしたい。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>まず、コミュニティスクールについて。コミュニティスクールは地域とともにあ</p>

<p>会長</p>	<p>る学校づくりということで考えているので、施策目標1まなぶよりは施策目標3つなぐ・つどうに当てはまる。そういうことで、外したというよりは適切などころに移した、整理をしたという考え方。</p> <p>縄文のビーナスプランについて。これは、多様な学びという考え方の中で、学校の中での学び、学校以外での学び、地域と連携した学びというふうに、これまで展開してきた内容を1つにまとめたものである。昨年の二学期からこれを示し始めている。小中学校の各保護者へは縄文のビーナスプランの体系図を示す、または学校長の方から説明しているが、市民へは広く周知している状態ではない。</p> <p>学校の再編について。学校の再編についてはまだ明確なものはない。これからまさに市民の皆様と対話を進めていき、より良い環境を整えていくためにどうすればいいかというような段階なので、まだこの計画の中に位置づけるというものではないと考えている。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい。さきほど計画の企画・立案段階から市民と協働で行うという条例の話があったが、ぜひ重視していただきたい。縄文のビーナスプランは周知ができていないというのが課題であると。チラシにも誰から出されて何なのかという説明があればいいと感じた。</p> <p>もう一つ気づいた点、施策目標3つなぐ・つどうの魅力あるコミュニティスクールの実施の部分。国型のコミュニティスクールへ移行とある。昨年も本会議で発言したが、どういうプロセスで国型へ移行したのか、またこの国型がいかなる内容であるかの説明がない。課題として、活動があまり知られていないとあるが、どのように知られていくようにするつもりなのかをお聞きしたい。</p>
<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>これまでの信州型・茅野市型という形でのコミュニティスクールと国型の違いは、学校運営に積極的に地域の声を活かすための主な役割が法律上明記されたことである。例えば、校長が作成する学校の運営に関する基本方針に承認できる、学校運営に関する意見を述べることができる、教職員の任用に関して教育委員会の定めるところにより意見を述べるということ規定が出てきている。これが一番大きな変化であり、そういった既定のない信州型・茅野市型から国型へ移行したほうが、積極的に地域が学校運営にかかわっていけると茅野市で判断をした。移行への話は各学校単位で従前のコミュニティスクールの委員さんに集まっていたいただき進めるほか、茅野市でも2月に研修会を開き信州型・茅野市型と国型との違いを含めお話しさせていただいた。基本的には各学校で考えを改めていくなら改めていくということも提案しながら進めてきた。</p> <p>周知については、ホームページへ学校運営協議会について掲載している。今後は活動を通じながら広めていき、そこに参加していただく方を募っていく方向になると思う。</p> <p>ありがとうございます。では、他の委員の方からせっかく集まっていたいでいるので、気づくことなど一言コメントをいただきたい。情報共有の面もあるので、皆様の団体の活動や抱えている課題なども絡めてお願いしたい。名簿順で。</p> <p>読り一むinちのから 読り一むinちのは、読書活動の推進ということで市とパートナーシップの公</p>

	<p>民協働という形で継続しており、今年で25周年を迎えている。代表的なファーストブックプレゼントについては、お子さんがいる各家庭1万以上の世帯へ。セカンドブックについては小学1年生のいる家庭へ1万3千くらいプレゼントさせてもらっている。これは、資金面や人員面で市にずっと支えていただいていることに感謝している。ただ、関わる市民が高齢化しており、人数が減っていることが団体の今一番の課題になっている。</p> <p>どんぐりプランに関しては、掲載しているファーストブック・セカンドブックの事例がかみ砕けていないような。もっと具体的なことを明記するように今後考えていかなければいけないと思う。</p>
委員	<p>茅野市食生活改善推進協議会から</p> <p>食改では、どんぐりカフェという子ども食堂や、夏休みの親子料理教室などで子どもと関わっている。そこで感じることは、そこに来たり参加したりしてくれる方はいいのだが、やりたいと思ってもやれないというか、声をあげられないというのがどうしてもあると思う。そのような方たちに何か届くようなものがあればいいと思うので、皆で考えていければいいと思う。</p>
会長	<p>今の話について、声があげられない、届かないというのは今年のどんぐりプラン中間見直しでも重点項目としてあがったところ。受け入れは充実できているが、どうやっていかに早く発見するか、キャッチアップを手厚くしていこうというのが話題になった。市の方針としてはそこが充実されているので、それを今度市民にどう伝えていくかと思っている。</p>
委員	<p>茅野市スポーツ協会から</p> <p>どんぐりプランの中での小中学校の学習環境の充実の部分で、リノベーションやトイレの改修等、財政状況が苦しい中で、計画に基づいて子どもたちの学習環境を整えていただいていることに関して私は大事だと思った。</p> <p>スポーツ協会の話でいくと、市民プールの閉館、スケート場も今後どうするかという中で、水泳やスケートはどこでしたらいいのかという心配がある。なおかつ、行財政改革という市の大きな流れの中で、公共施設の利用料金見直しということが協会の中でも話題になっている。運動公園、体育館等の利用料が大分上がると聞いており、もう少し検討してもらえないかという話が出ている。12月の議会にかけられ、決議されると来年度の4月から実施されると聞いているので、この場にいる皆さんにも、今後どうなっていくのかを注視していただきたい。</p>
会長	<p>私もプールやスケート場についての議論が広く行われる場がないような気がして歯がゆく思っている。例えば、こういう施設を6市町村広域で支えるのもいいと思っている。また、博物館利用料なども利用者の量、利用者に対するのが原則だという考え方が本当にいいのかという。どんぐりプランでも体験機会の提供を謳っていて、利用料があがればそれも阻害されるので、プランの推進にも関わってくると考えている。</p>
委員	<p>茅野市子ども会育成会連絡協議会から</p> <p>茅野市子ども会育成連絡協議会は、施策目標1まなぶの体験機会の充実に関わっている。茅野市リーダースクラブの関係です。</p> <p>課題にもあるように、コロナの期間は子どもたちが人前に立って何かやりました</p>

	<p>いという気持ちがあっても、大勢を集めて何かをやるということがなかなかできなくて苦しんでいる姿を目の当たりにしていた。ただ、その中でも、今までしていたゲームを、どうやったらコロナ期間でもできるかを、子どもたち自らが考えを出し意見を言い合う場面も見ることができた。</p> <p>また、継承が困難ということについて、常任理事の中でもかなり課題としている。高校生が主体のクラブではあるが、高校生自体が少なくなっている。そうすると次の代、中学生や小学生にどう継承していくかというところ。コロナ前は、常任理事の方で、市内の小学校5,6年生の先生方を対象に茅野市リーダースクラブのPR活動をしていたが、コロナがきっかけでなくなっており、こういった活動も復活していけたらと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>リーダースクラブの広報というものは、決まっていたり、アクションしにいったりしないと機会がもらえないのか。</p>
<p>委員</p>	<p>ちーぼが載っている茅子連だよりという、茅野市子ども会育成連絡協議会だよりを年3回くらい発行している。そこで、行事や活動を載せてPRしている。そのほか、出前講座というものがあり、各地区での行事で何をしたらいいのかわからない、マンネリ化しているというときに、リーダースクラブの中高生を呼んでもらい、ゲームなどをして活動をPRすることを少しずつ行っている。ただ、広報については、リーダースクラブというよりはちーぼの方が先立っているような印象をうけている。</p>
<p>委員</p>	<p>主任児童委員会から</p> <p>主任児童委員会では、主任児童委員自体が市民の皆さんに認知されていないという現状があるということで、昨年からPR活動をしている。各地区の公民館や小学校にポスターを作って掲示させてもらっている。</p> <p>私たちは、地域の子どもの見守る中で気づいたことがあれば、関係機関へつなぐということを業としているが、団体の中でいつも話題になるのは、家庭の細かい事情というのはなかなか表に出てこないの、つなぐことがなかなかできないということ。先ほどの食事の関係にもあったが、いろいろなところに出てくる子どもの様子は見るができるが、問題を抱えている子どもや家庭は陰に隠れて表には出てこないの目につかない。児童相談所や警察などいろいろなところで子どもに関する情報や問題はつかんでいるのだと思うが、守秘義務や個人情報などのため、私たち地域にはその情報が入ってこない。それが、地域で見守る自分たちの立場からするとジレンマになっている。</p> <p>また、不登校などに関して、子どもをサポートするというのは市の育ちあいちのなど、いろいろなところでやっているが、親御さんをサポートするところはあるのか。子どもに対して親としての対応に悩んで苦しんでいる親御さんたちもいる。そういう機関があるのかどうか。難しい問題だと思うが、これが団体で今抱えている課題になる。</p> <p>人権擁護委員から</p> <p>どんぐりプランについては感心して見させてもらった。私に関わっている人権に関してみると、全体にわたって、どの場面でも必要なことであり、活かされてきているのではないかと。ただ、進捗状況の方で見ると、人権は施策目標1まなぶの多様な課題に対する取組の充実なのかと思うが、成果指標をどう捉えればいいのか。他の部分でも、施策目標と成果指標の関係がわかりにくい。もっと</p>

会長	<p>違う指標でもいいのではないかと感じた。 また、時代に合ったという言葉が出てくるがこれはどう捉えているのかを聞いてみたい。感想のようになってしまい申し訳ない。</p> <p>確かに、時代に合ったとか、アップデートなどというのは、具体的にどういうことかというのはほしい。指標についても、何かを決めなければいけないのだが、他にもっとあるだろうというところを充実させなければいけない。</p>
委員	<p>茅野市PTA連合会から 感想としては、施策目標2支えるの安心して子どもを産むことができる環境づくりという部分で、自身の経験からも妊娠から出産まで検診代などとてもありがたかったということを感じた。 気になったことは、将来は茅野市で暮らしたいと思う15～18歳の割合。自分たちの子どもがその年齢になったときに、外に出て行ってどのくらいが茅野市に戻ってきたいのかは気になるところ。</p>
委員	<p>茅野警察署から 我々警察の扱う業務はこのどんぐりプランでは年齢的に少し上のほうになるので、参考としてお話しさせていただく。コロナの関係でいうと、令和4年から令和5年にかけては、犯罪認知件数がプラス100件以上増となっている。これはコロナが落ち着いてきて、人や活動が活発化することで治安も若干悪くなったような状況だと考えている。今年7月末時点の統計では、昨年と今年は横ばいの状況。 また、少年補導などの面で行くと、少年の人口自体が減っていることもあり、減少傾向にある。児童虐待の件数は横ばい、もしくは減少になっている。警察では、中学・高校へ防犯講話といった形でお邪魔させていただいている。 昔に比べると少年補導は、たばこや飲酒がメインであったが、今、それはあまりない。社会情勢の変化で、インターネットがかなり普及し、学校教育の中でも、インターネットがすぐ手元にある教育ではあるが、人を簡単に傷つけるような発言などに親御さんが苦労して相談にきたり、学校からこういったものを題材としての広報ということを所望されお話をさせていただいたりしている。 これからインターネットがもっと普及していく中で、すべてが法律で規制できるものではないので、小さな頃から教育と言うか、親御さんも同じようにその対策について教養を深める必要があると思っている。</p>
委員	<p>諏訪児童相談所から どんぐりプランでは、児童相談所が関わるのは施策目標2支えるの部分。子どもと家庭の支援の充実で、プランに書かれている通りだと。 児童虐待については、急激に伸びたというのは少し前のことで、最近は高止まりの状態で微増している。虐待対応については、以前の家庭からの分離ではなく、予防や在宅支援をどうするかというのが主流になってきている。 茅野市では、新たに子ども家庭センターを設置していただいて、非常に体制を整えている。専門性を求められたり、負担が大きかったりということもあるが、ぜひこちらをより充実していただければと感じている。</p>
委員	<p>長野県子ども・若者育成支援推進本部諏訪地方部から 感想ですが、ここに集まっている皆さんは何らかの形で子どもに関わってい</p>

	<p>る方だが、私のように子育てが終わってしまうと日常生活で子どもに関わる部分がまったくない。県でも人口減少にどう対応していくかという中で、子どもと関わっていない大人たちと子どもたちがどう接点を持てばよいのかを考えた。大人が学校に行くというのは、ハードルが高いと思うので、例えば、子どもの方から大人が働いている企業に行くなど、働く場所、生活の場所に顔を出してもらおう。そうして、茅野で働く、或いは生活している大人を子どもが見て、将来茅野市で暮らしたいと思う割合が増えれば。今生きている大人を見て、ここに住んでもいいかなという結論まで結び付けられれば非常にいいと思った。</p>
委員	<p>長野県では、昨年9月から信州学びの円卓会議を開き子どもたちにとっての最適な学びについて議論している状況。どんぐりプランの施策目標1まなぶの学校教育の充実での効果的なICTの活用や、縄文のビーナスプランに基づく共同学習などの具体的な取り組みがヒントになるのではないかと感じた。県でも個別最適な学びを考えるうえで参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>茅野高校から 高校は16から18歳の子どもがいて、どんぐりプランの中では仕上げの3年間を高校で過ごす。このどんぐりプランの究極の目標は、地域に残り、または戻ってきてこの地域を支える人材を育成していくことだと私は感じている。本校の教育理念の中でも地域を支える人材の育成ということを掲げており、高校進学で茅野市から離れ、18歳で進学などで全国へ散らばって学んでくるわけだが、そのまま残っていても、いつの時期でも構わないが最終的に茅野市へ戻ってきて茅野市を支えてくれる子どもたちを育てていくことが一番必要なことだと感じている。そのために、先ほどから話題に出ている将来茅野市で暮らしたいと思う15歳から18歳の割合を高めるような施策を掲げていただきたい。我々もその世代の子どもを預かる学校として何ができるのかを考えて行きたい。今、本校では独自に生徒を地域に委ね、年間を通して企業実習をさせてもらい育てていただいている。 茅野市の高校は県立私立とある中で、このどんぐりプランで手厚く育ててもらった子どもたちに何ができるのかということを考えて行きたいと思っているので、是非とも施策目標4ひとそだちの夢のある子どもの育成の部分で、具体的な施策を進めていただければ大変よいのではないかと思います。</p>
委員	<p>教育委員から どんぐりプランの進捗状況について、成果の目標指標の中の、茅野市・原村青少年健全育成推進大会が終了となっているが、なぜか。また、こども会議も終了してしまっているのはなぜか。</p>
こども部長	<p>茅野市・原村青少年健全育成推進大会については、茅野市と原村の共同で学校の先生やPTAの保護者の方を対象に年に1回講演会を開いていた。原村との対応の中で、開催方法や内容について改めて考え直すということで一旦終了という決断になった。これからまたどのような形で行っていくかは今後検討していく。 こども会議については、運営側や子どもの参加の関係があり一旦終了したという状況。これは、子どもたちの声をまちづくりに活かすという観点で実施してきたおり、一昨年には子ども版まちづくり懇談会を開催、昨年は子どもの声を聞くアンケートを実施している。どのように、子どもたちの声をまちづくりに活かす</p>

委員	<p>か取組を検討している状況。</p> <p>昨年アンケートを取られていたので、ぜひそのような子どもたちの意見を取り入れ、反映させてほしい。</p>
委員	<p>茅野市校長会から</p> <p>先ほど話題にあった縄文のビーナスプランの周知ができていないことについて、校長会として大いに反省している。</p> <p>一人一人が縄文のビーナスのように輝く。みんな同じから、その子のよさを認め、伸ばす教育へ、今大転換をしているところであり、このことができれば、児童生徒の学校に対する、こちらの指標にある満足度に繋がると思われる。</p> <p>今後も質の高い教育支援ができるよう努めていきたい。</p>
委員	<p>茅野市園長会から</p> <p>どんぐりプランの内容は、すべて保育園に関係する部分。コロナが5類になり、保育園でも大分異年齢交流が進められるようになり、子どもたちも伸び伸びと生活できるようになっている。</p> <p>この夏休みを通して、小学校の先生方が一日保育士体験に来ていた。各園で子どもたちが遊びから主体的に動いている姿を、実際に体験して見ていただき、学校へどう繋いでいくかを考えていただいている。</p> <p>また保育士で、行事の見直しなどを行いながら保育士の業務過多にならないように、取り組み方法を考え進めている。</p> <p>どんぐりプランについても、市民の皆さんや行政で考えたことを保育園でどう活かしていくかを今後も考えていきたい。</p>
副会長	<p>福祉21から</p> <p>他県で、子どもがいなくなった、生まれなくなったという話があるが、それは茅野市でも他人事ではない。生まれた子どもが、このような話に同調して実行しても20年以上かかる。今、子どもがいけないことは現実で、もしかすると子どもが増えるかもしれないと思っている人もいるかもしれないが、5年たてば子どもが少ないことは、さらに進んでいると思う。その中で、生活や仕事への負担が大きいと、子どもだけでなく茅野市から人がいなくなることは現実ではないか。ではどうすればいいのかというのは、非常に難しい問題ではあるが、先ほど話題にあった時代に合ったとかこれからは、学びや生活、仕事の仕方だけではなく、すべて必要だと思う。そして、感じたことは、結局情報がいついていない。必要な情報が欲しい人のところへいついていない。情報がうまく回るようなことを重視して考えて行かなければいけない。</p> <p>また、子どもが考えることと、大人のそれではベースがまったく違う。こういう話をするときも、子どもがどう思っているかを考える必要があるし、子どもにも自分がどうしたいのか、自分の考えがある人間に育ててほしい。</p> <p>情報は手段だが、結局人と繋がりがあがる生活がしたい、一人の人間が途切れなく幸せに生活できるようにという考え方を進められるようなことをやっていきたい。小さなことでも、是非一緒に続けていくことができれば。</p> <p>やはり、横の繋がりが薄くなってきていて、評価がお互いにわからない。コロナをきっかけに、やらないことが増えているが、やり方を変えればできることも多いと思う。そのようなことに対応していただければと思う。</p>

会長	少し時間をかけたが、皆さんの視点から見えることややっていることをお互いに知ることは、励みになる。ありがとうございました。
幼児教育課長	<p>(3)第二期茅野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について【資料5】にとり、進捗状況について説明。</p> <p>こちらの第二期計画については、今年度で終了となる。そして、令和7年度からの第三期子ども・子育て支援事業計画を策定したいと考えている。この計画策定に当たり、子ども・子育てや家庭の状況と、需要を把握するためのニーズ調査を行う。内容は、基本的に第一期、第二期の考え方をもとに、国のガイドラインに基づき、どのような状況で利用しているかなどのアンケートを実施し、量の見込み等を策定したいと考えている。</p> <p>今後のスケジュールとして、ニーズ調査及び策定の素案ができたところで、12月を予定しているが、本会議に、お諮りさせていただいて、ご意見いただきたいと思っている。また同時に、パブリックコメントも予定している。その後、改定、修正等あると思われるので、またそこ直させていただいて、1月にもう一度本会議で意見を出していただき、策定決定をしたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p>
会長	<p>個別的な事業の実施の報告が中心であったかと思うが、委員の方からお気づきの点、質問コメント等はあるか。</p> <p>— 意見等なし</p>
こども係担当	<p>9 報告事項</p> <p>(1)子ども・子育て支援事業計画に係るアンケートの実施について</p> <p>第三期茅野市子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、学童クラブでも9月頃にニーズ調査を予定している。形式は書面及びwebからの回答。対象は3歳から小学6年生の保護者。よろしくお願ひしたい。</p>
こども課長	<p>(2)どんぐり手帳について</p> <p>【追加資料】に基づき説明。</p>
こども係担当	<p>(3)永明小学校学童クラブ移設について</p> <p>永明小学校学童クラブについて、永明小中建替えの関係で現在は旧校舎で運営をしているが、令和7年度からはちの地区コミュニティセンターで運営する。現在、学童クラブ設置のためちの地区コミュニティセンターで改修工事を行っている。</p>
副会長	<p>10 その他</p> <p>委員、事務局ともになし</p> <p>11 閉会</p>